

商業科（ビジネス・マネジメントⅠ）学習指導案

1. 日時 令和3年 11月 10日（水）2限

2. 場所

3. 学年・組 2年1組

4. 単元名 第4章 ビジネスの担い手としての企業

5. 単元目標

○財務諸表の役割について理解する。

○企業経営において利益を追求だけでなく、資金管理も重要であることを理解する。

6. 生徒観

○本学級は大人しい生徒が多く、基本的に静かに授業を受けているクラスであるが、その一方で、意見を求めてもあまり積極的に発言しない問題もある。グループワークに積極的に参加する度合いに開きがあり、グループワークに苦手意識を持ち、意見交換を積極的に行わない生徒に対して留意しておく必要がある。

7. 教材観

○本教材は、企業の形態にはどのようなものがあり、営利企業の目的である利益の追求は誰のために行っているのかを理解し、利益に対するイメージを再構築するのに適した題材であると考ええる。

8. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業で取り扱うテーマに対して関心を持ち、授業中に聞かれた質問に対して、自分の意見を考えると共に積極的に周囲の人と意見交換をしている。	授業中に出された議論のテーマに対して自分なりの意見を思考し、その意見を相手に伝えるように表現することができる能力や班で話し合った内容をまとめ、分かりやすく伝える能力を養う。	企業の経営状態や倒産のリスクについて、財務三表の数値を用いて分析することができる。	財務三表に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、黒字倒産が起こる原因や内容について理解している。

9. 単元の指導計画

	内容	関	思	技	知
第1時	損益計算書 貸借対照表	○		○	○
第2時	株主 債権者	○			
第3時	倒産 赤字企業	○	○		○
第4時 (本時)	黒字倒産 キャッシュフロー計算書	○	○		○

10. 本時の展開

(1)本時の学習内容

- 黒字倒産
- キャッシュフロー計算書

(2)本時の目標

○黒字倒産を引き起こす原因について理解すると共に、その対処法について考える。

(3)本時の評価規準

○キャッシュフロー計算書の基本的な知識が身につく、黒字倒産が起こる原因について理解している。

(知識・理解)

○質問に対して自分の意見について考えると共に、周囲の人と積極的に意見交換を行う。

(関心・意欲・態度)

○自分の意見を相手に伝える能力を養う。(思考・判断・表現)

(4)本時の学習過程

時間	指導内容	学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク① ・本時の流れ ・前時の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・「黒字倒産でも倒産するか」について班で議論する。 ・班の意見を発表する。 ・本時の流れを理解する。 ・前時で学習した内容を再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に班ごとで着席させる。 ・プリントを配布する。 ・【机間指導】 議論に参加しているかどうか留意する。 ・予想していない答えだとしても、慌てずしっかり反応する。 ・倒産するかどうかは企業が黒字か赤字かよりも資金があるかが大きいことを再度解説する。
展開 ① 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク② ・グループワーク③ ・グループワーク④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「売上の相手勘定科目が現金・預金以外の時はあるか」について話し合う。 ・班の意見を発表する。 ・「売上の相手勘定科目として現金・預金以外に何が挙げられるか」について話し合う。 ・班の意見を発表する。 ・「現金・預金が減る勘定科目は何かがあるか」について話し合う。 ・班の意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【机間指導】 議論に参加しているかどうか留意する。 ・予想していない答えだとしても、慌てずしっかり反応する。 ・すでに学んできたことを理解しているか確認をする。 ・グループワーク終了後、机を前に向かせる

時間	指導内容	学習内容・学習活動	指導上の留意点
<p>展開 ② 15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒字倒産 ・キャッシュフロー計算書 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒字倒産が起こる原因について2つの事例をもとに理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒字倒産の原因について解説後、2つの企業の事例を紹介する。 ・キャッシュフロー計算書が何を表しているのかについて解説する。 ・キャッシュフロー計算書の各区分の意味について解説する。 ・この内容については日商2級の出題範囲ではなく上位級の内容であることを伝える。
<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返り ・4回の授業の総まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で学習した内容を振り返りながら理解を深める。 ・今までの授業で何を学んできたか再確認する。 ・プリントに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・4回の授業の総まとめが終わった後、伝えたかったことについて生徒に話す。 ・残りの時間で最後の項目について記入するよう伝える。